

早川貯水池（早川取水口）



早川貯水池（貯水量 77 万 t）

早川貯水池は早川土地改良区（受益地は水田約 100ha）と大間々用土地改良区が共用している貯水池です。大間々用土地改良区は深沢川の水を導水路により早川貯水池に入れた分の水を高低差を利用して早川貯水池より送水しています。

平成 13 年度から平成 18 年度には、県営ため池等整備事業（農地防災）により堤体の補強工、グラウト工（漏水防止工）、取水施設の改修工が実施されました。



左の写真は早川貯水池を減水した時に撮影した早川取水口です。平成 12 年度に県営畑地帯総合土地改良事業で造成されました。

早川取水口はヒンジパイプ式の構造になっていて、早川貯水池の水面下 1 m の良質の水を取水し、1 工区の一部を除く受益地全域に送水しています。

この取水口完成前は早川貯水池の斜樋から放水された水を取水していた為不安定でしたが、この取水口の完成により十分な圧力で安定した送水が可能となりました。



早川貯水池近くにある記念碑

左の写真は県営畑地帯総合土地改良事業の竣工記念碑の全景です。

記念碑敷地内を流れるせせらぎの水は導水路の水を、高低差を利用して流しています。

竣工記念碑は、早川取水口造成時の取水トンネル縦坑作業用地を利用して造成されました。